

# 緑の相談所だより

No.88

発行 2004. 6. 1 編集 財団法人旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所。

## 講習会のおしらせ

### 「メルヘン春の少女」

日時 6月13日(日)  
午後1時半～3時半

講師 つくしんぼ押し花  
加藤 迪子

定員 30名

教材費 大人500円 子供300円

持物 ふんちん・はさみ  
ピンセット・手ふき

お申込み・お問い合わせは

Tel (0166) 65-5553

緑の相談所まで。  
お気軽にお申込みください。

### 「庭木類の健康診断と対策」

日時 6月20日(日)  
午後1時半～3時半  
(第3日曜日です。)

講師 緑の相談所  
相談員 佐藤 吉光

定員 50名

### 「楽しい菊の育て方」

日時 7月11日(日)  
午後1時半～3時半

講師 旭光菊花会  
小林 洋一

定員 50名

### 「フラワーアレンジメントリース型」

日時 7月25日(日)  
午後1時半～3時半

講師 フLOWER装飾技能士  
寺岡 るみ

定員 30名

教材費 1,300円

持物 はさみ・手ぬぐい



# 花言葉

6月に入るとカッコウのなき声と共に豆やとうきびの種まきなどの家庭菜園の農作業が始まったのは一昔前、今は4月の雪解けを待ちきれずにガーディニングが始まります。

夏花壇用の草花は霜が降りると枯れますよ。と言っても最近はそんなに枯れるような遅霜がありません。さて、今年は……。

今回は夏花壇のポピュラーな草花から花言葉を調べてみました。



## マリーゴールド

ご家庭には必ず植えられるくらい普及した花です。また「黄金の花」と呼ばれ、黄色花ではこれに勝るものはないでしょう。

園芸品種ではアフリカン（高性）、フレンチ（低性）があります。皆様はどちらを植えていますか。

キク科タゲテス属で別名孔雀草、和名万寿菊、千寿菊といわれています。熱帯やメキシコなど温帯アメリカに分布する一年草及び多年草で、古くから改良が進み多くの園芸品種があります。

また、マリーゴールドには特殊な機能があり、その根が土壌線虫の繁殖を防ぐことから大根と混植して線虫被害から農作物を守っている例があります。

花後の花がら摘みなどの管理をうまくすると秋の降霜まで楽しめます。

マリーゴールドの花言葉 黄色系の花に共通した不吉な寓意から不吉なイメージを受けてしまうかわいそうな花です「嫉妬心」



## ペチニユア

最近のガーディニングには欠かせない花のひとつで、花壇、プランター、ハンギングなど前述のマリーゴールドより人気が高いようです。

中南米に分布する一年草、多年草で江戸末期にアメリカから日本に入ってきました。その後イギリス、ドイツなどでたくさんの園芸品種が開発されましたが、中でも1930年代に八重咲き種が日本で開発され世界に発進されました。また、ペチニユアといえば、未だに人気一番で世界的大ヒットの「サフィニア」も日本からです。皆様のところで、うまく育っていますか。

ナス科ペチニユア属で羽根突きの羽根に、またアサガオに似ているので「突羽根朝顔」（ツクバネアサガオ）という美しい和名があります。

ペチニユアの花言葉 夜になると香りが強くなる品種があることから「あなたといると心が安まる」



## サルビア

夏から秋にかけて、サルビアの鮮やかで真紅な花色は無くてはならない草花の一つで、秋の催事にも必ずプランターなどで飾られています。旭川の短い秋を彩ってくれます。

シソ科サルビア属でブラジルなど広く熱帯から亜熱帯に分布し、900種以上に及ぶ大きな属で日本にも10種以上が分布していると言われています。宿根性の種子が多いが、一、二年草から木本性低木になるものもあります。最近ではサルビア・ファリナセアの白色花や青色花も植えられてきています。

和名 緋衣草（ひごろもそう）

サルビアの花言葉 一面の赤い花を見ていると、まさに花が燃えている感じ「私の心は燃えている」

# トマトの施肥量について

野菜を植え付ける時期が来ましたが、よく「毎年トマトを植えるのだが茎や葉ばかり大きくなって実が少ない」と言うお悩みの方が多いのではないのでしょうか。これは定植の時に一般の作物と同じように与える肥料の全部を施すために起こる現象です。ではどのようにすればトマトを沢山収穫できるのかを考えて見たいと思います。

## 1. トマトの必要な肥料の量

作物が生育して収穫するためには肥料が必要ですが、多すぎても少なすぎても良い収穫を得ることが出来ません。トマトを植えてから収穫までに必要な肥料の量は植える土の状態（前年の作物や施肥の量）にもよりますが一般的に成分量（純粋の成分）でトマト1本で次の様に言われています。

窒素 8g~8.8g      リン酸 8g      カリ 8g~8.8g

これを実際の単肥（硫酸、過リン酸石灰、硫酸カリ）と皆さんお馴染みの有機配合肥料五光肥料の場合で換算すると次の様になります。

○単肥混合の場合（窒素、リン酸、カリの成分量は8gであるから）

含有量 硫酸21% 過リン酸石灰18% 硫酸カリ50% なので。

硫酸の量=必要成分量÷含有率 = 8g ÷ 0.21 = 38g

過リン酸石灰、硫酸カリについても同様に計算して次のようになります。

硫酸 38g      過リン酸石灰 38g      硫酸カリ 16g      合計 92g

○五光肥料の場合

成分含有率が同じだから

肥料の量=必要成分量÷含有率 = 8g ÷ 0.09 = 88g . . . . . 88g

## 2. 施肥の仕方

トマトの生育は普通の植物と違い定植から全収穫まで栄養成長（茎葉の成長）から生殖成長（花実をつける）が1回ではなくて定植から第一花房に実がなるまでに栄養成長から生殖成長の過程があります。第一花房から第二花房に実がなるまでも栄養成長から生殖成長の過程があり花房から花房までの間毎に栄養成長から生殖成長の過程が繰り返されます。そして、その段階毎に肥料が求められます。ですから定植時、元肥えに全肥料を施すと定植から第一花房に実がなるまでの成長過程で肥料過多となり栄養成長ばかり進みその影響が次々に現れて結局茎葉ばかり大きくなって実の収穫が少なくなるわけです。これを避けるために次のように施肥をするれば良いのです。

第三花房までの結実をねらうときの例

	単肥料混合の時	五光肥料の時
①元肥え	30g	28g
②第一花房に実が1個がなるとき（追い肥）	31g	30g
③第二花房に実が1個がなるとき（追い肥）	31g	30g

トマト1本につき上記の様にいずれの場合も1回30g前後の量なので大人の手で軽く1握りの量で良いということになります。

## 3. 単肥料混合の配合の仕方（必要成分：窒素8gリン酸8gカリ8g含む）

トマトの必要成分量が同量なので下記のような簡便な配合方法が考えられます。

一定の升（任意の量）を用いて

硫酸 . . . 2.5杯      過リン酸石灰 . . . 2.5杯      硫酸カリ . . . 1杯

これを混合してよく攪拌してこれを2. ① ② ③のように施肥します。



## 六月の園芸作業

### 1 庭木・果樹

- ◆シャクナゲは花後、子房（種子）の下から摘み取る
- ◆ライラックは花房を切り取る。
- ◆ボタンは花びらが散ったら、花と下の葉の間で切る
- ◆ツツジ類、ライラックは花後すぐ剪定する。
- ◆イチイ、シンパク、ヒバ、ツゲなどは適時剪定する
- ◆常緑樹の移植・イチイ、マツ類、エゾマツ、トウヒなど移植の時期で、枝が多く伸びているのは枝すかしや芽つみなどをして移植する。
- ◆マツ類は、勢いよく伸びる新芽から折り、数日をかけて摘み取る。
- ◆バラ、ボタン、シャクナゲなどは根の乾燥を嫌うので腐葉土など根際に敷く。
- ◆ブドウの芽かき（1平方メートル当たり7～8芽程度残す）と新梢の誘引をする。
- ◆リンゴ、ナシはなるべく早く1か所から出た複数果実のうち、形がよくて大きい果実を一つ残す。
- ◆シンクイガの防除のためリンゴなどの袋かけ（6月末～7月上旬）をする。

### 2 草花・球根

- ◆新梢の基部を切り、芽の先の部分は切りつめてさし芽する。
- ◆チューリップは葉が黄ばみ始めたら茎葉をつけたまま掘りあげる。
- ◆エゾスカシユリなどのユリ類は根に直接日光が当たる場合は、生育不良となりやすいので刈り取った草などをマルチングする。
- ◆ダリア、カンナは地温10度以上にならないと萌芽・発育しない。グラジオラスは植え込み時期を2週間くらいあけると花期がずれて楽しむことができる。
- ◆ジャーマンアイリスの株分け、植え替えする。

### 3 洋ラン

- ◆シンビジュームとデンドロ・ノビル系は日中15度以上、カトレアは最低気温が15度あれば戸外へ、コチョウランは室内に置き、遮光する。
- ◆室温が最低15度以上あれば、水やり施肥など回数多く与えて積極的に育てる。
- ◆花が終わったコチョウランやデンファレなどで水ゴケが古くなったもの、一鉢に数本寄せ植えしてあるものはコンポストを崩し、一本ずつ分けて植替える

## 七月の園芸作業

### 1 庭木・果樹

- ◆イチイなど玉物や生け垣などの刈り込みが終わった後に徒長枝は剪定する。
- ◆シャクナゲなどは花が終わったらただちに花茎から摘み取り、化成肥料を与える。
- ◆松柏類の芽摘みと春から伸びて生長が止まった枝を切りつめて挿し木（緑挿し）する。
- ◆ライラック、レンギョウ、フジ、ツツジなどは翌年花となる芽が茎頂や葉えきにできる時期なので、リン、カリを多く含む肥料を与える。
- ◆リンゴなどの果樹にモモクイシンガが発生します。7月上旬には殺虫剤をかけ予防し、リンゴ、ナシ、モモなどは袋かけする。また、実が腐ってくる灰星病なども発生するので殺菌剤で予防する。
- ◆ブドウの摘房、整房、新梢管理する。

### 2 草花・球根

- ◆鉢植えの場合は晴天日はよく乾くので朝夕2回の水やりをする。
- ◆ハボタン、パンジー、デージーの種まきの時期です
- ◆掘りあげた球根は網袋に入れて秋まで貯蔵し、チューリップは青かびに注意する。
- ◆ユリの早咲きの種類は今が開花時期です。花が終わったら早めに花がらを摘み取り、切り花として楽しむ場合は葉は下から3～5枚残すと来年の花が期待できる。

### 3 洋ラン

- ◆カトレア、オンシジュームなど戸外に出せるものはなるべく外に出し、寒冷紗などの下で吊るか、柵上で育てる。
- ◆シンビジュームは朝のうちに水をたっぷり与え、良く日に当てる。デンドロビュームは止め葉が発生したら施肥を中止する。
- ◆安心して肥培できる時期です。液肥はリン、カリの多いものを1500倍ぐらいで与える。
- ◆バルブが長く伸びるものなど、新茎の伸長にともない支柱を立てて姿勢を保つ。

花菖蒲



向日葵

